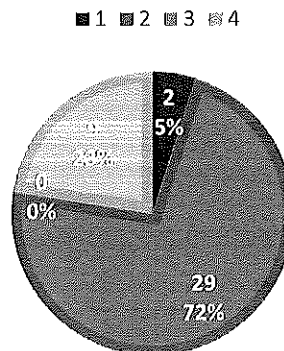


【資料4-2 小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業等に関する調査結果】

- 1 調査対象：UMECO登録団体
- 2 実施時期：令和7年4月1日（火）～5月8日（木）
- 3 回答数：41団体（R7年度末登録団体385団体中）
- 4 回答率：11%

Q1 ①市民活動・協働応援制度を知っていましたか。②他の助成制度を利用していますか。

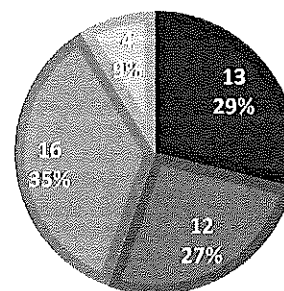
① ①知っている、②利用している	2
② ①知っている、②利用していない	29
③ ①知らない、②利用している	0
④ ①知らない、②利用していない	9



Q2 Q1が①、②の団体へお伺いします。補助金制度を利用しなかった理由は何ですか。

①申請が煩雑だから	13
②プレゼン審査、事業報告会への出席が必要だから	12
③自己資金で活動可能	16
④その他	4

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6



※④その他…準備時間が確保できない

会費収入がある

他の補助金を申請済み

他補助金で頑張ったが報われず、やる気が起きない。

Q3 Q1が①、③ 他の助成制度を利用している団体へお伺いします。

他の補助金制度とは何ですか。

・ 社会福祉協議会の補助金
・ 文化庁 親子教室事業補助

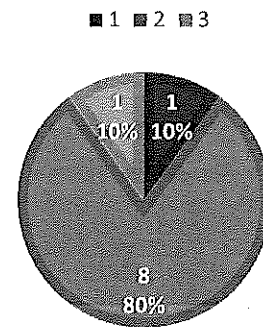
Q4 Q1が③、④ 小田原市市民活動・協働応援制度補助金を知らなかった団体へお伺いします。
この制度を利用したいと思いましたか。

①利用したいと思った	1
②利用したいとは思わなかった	8
③その他（※③）	1

※②利用したいとは思わなかった理由

…複雑そう。団体の主旨にそぐわない。活動を始めたばかりなので、活動が少ない。

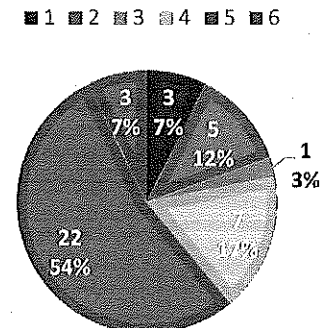
※③その他…今後、検討したい



Q5 本補助金制度を「知っていたが利用していない」と回答された団体にお尋ねします。
小田原市市民活動・協働応援制度をどこで知りましたか。

①市ホームページ	3
②UMECOホームページ	5
③以前に補助金を受けていた	1
④広報おだわら	7
⑤UMECOだより	22
⑥その他（※）	3

※⑥その他…応募の手引き・チラシ、市の広報紙



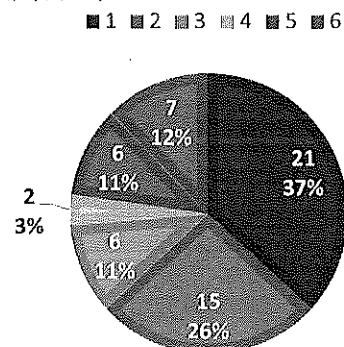
Q6 すべての団体にお聞きします。

団体活動の情報発信は何を利用されていますか。（複数回答可）

①チラシ等の紙媒体（※①）	21
②ホームページ	15
③facebook	6
④X（旧Twitter）	2
⑤Instagram	6
⑥その他（※⑥）	7

※①配布先…三の丸ホール、公共施設、他のイベントへのチラシ持ち込み、図書館に配架

※⑥その他…UMECOだより、社協だより、自分時間手帳、YouTube、電話、メール
新聞等への投稿（無料枠利用）、展示会でのチラシ配架



Q7 補助金制度のリニューアルや補助金制度全般について

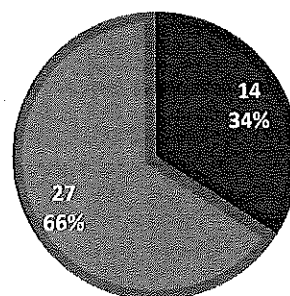
良かった点や課題だと感じた点についてお聞かせください。（自由記載）

- ・小田原市が発展するためにとっても良いと思う。
- ・複数の団体が一緒に事業を行うなど、幅が広がったように思う。
- ・有用な内容だと思います。登録団体へ少額でも支給はありがたい
- ・自己資金がなければ申請が難しいと思う。
- ・制度としては結構だと思います。
- ・外に向かう活動と内に向かう活動がある。華々しいにぎやかな活動で人を動かす方向にのみに傾倒しすぎていないか。

Q8 他の主体と協力して活動した経験がありますか。

①ある	14
②ない	27

■ 1 ■ 2



Q9 Q8があるとの回答の団体にお聞きします。

協働相手について、相互の役割、協働して良かった点、課題点をお答えください。（自由記載）

- ・自分達に不足している発信力やマンパワーを補っていただけてありがたかった。
- ・色々な人とつながれた。新しいことに参加できた。
- ・平日は参加できない。
- ・会場の手配や広報など分担できるので、団体の負担が減りよい。
- ・良かった点：集客してくれる、イベントの流れがスムーズになる。
- ・課題点：お互いの団体をよく知りえない
- ・自分たちの力だけでは得られないご縁があった。
- ・同じリサイクル団体として活動していても考え方の違いを感じたことがあった。
- ・受入側に温度差があってやりづらかった。
- ・他の文化団体の方々と知り合え、活動の幅が広がった
- ・行政と協働したときは、場所が確保されていて宣伝もしてくれるのでよかった。
- ・カフェ経営者とコラボしてワークショップ＆ランチのイベントを行った。私たちがワークショップを行い、そのあとに皆でカフェのランチを楽しむ。互いの売りを活かし、協力した。課題点は全くお客がつかないこともあり、カフェとの調整などが負担。

Q10 全ての団体へお聞きします。

協働を始めるためには、どのようなきっかけやメリットが必要だと思いますか。（自由記載）

- ・目標の70%以上の良い結果が得られること。
- ・メリット（情報発信、人手、資金、相乗効果）、きっかけ（当団体が得意とすること、目的が協働事業と合致した時）
- ・多様な主体は社会的信用度が高い団体が多いと思うので、小さな市民団体が協働する場合、市民団体の信用度も上がると思う。また、横のつながりも広がると思う。
- ・団体の活動の労力に見合う人材や資金の確保ができれば。
- ・公平で広い参加案内の実施
- ・各団体がそれぞれ広報していくしかない
- ・相互理解と会のPRにつながる
- ・UMECO祭りのようなイベントや交流会を行うことで、知らない団体を知ることができてよい。
- ・出会い（つながり）
- ・お互いに活動を通して向上できるような体制作りが必要かと思う。
- ・教育委員会の協力
- ・お互いの活動を共有することができ、有意義だった
- ・主体の活動や行事に関する情報入手、お互いの活動のPR
- ・UMECO祭りへの参加、他団体の活動に関心を持つこと
- ・UMECO祭りで知り合いになり、団体の方向性を聞いたとき
- ・各団体がお互いの活動内容を知らない（目的など）協働は難しい
- ・きちんとしたビジョン、資金、人的資源、場所の確保と宣伝力が必要
- ・会員同士が①情報共有、②継続して実践できる、③仲間として話し合いができる、④運営側と協力し頂く方が計画の詳細と自前打ち合わせが必要。
- ・協働をあえて求めている。外の発信は考えていない。

調査を行い、自分達と似たような考え方をもち相手を、絶えず探し続ける根気。いつもアンテナをはっておくことが必要。宣伝力が必要。集客する力が必須。集客を協力・宣伝してくれる存在がほしい。

- ・団体同志が集まるこの機会と、照会し合って協働するとどうなっていくかを知ることが必要

Q11 市民活動団体と多様な主体との連携の促進に向けて、市やUMECOに何を望みますか。

- ・ 情報発信の場の提供、小さな団体を育成する・支援する・声をきく体制、UMECOに足を運びやすい条件づくり（駐車場割引など）
- ・ 多様な主体の困りごとや希望の洗い出しと連携の可能性を模索している団体への情報提供とマッチングの機会の提供。
- ・ 情報発信への協力
- ・ 1時間単位で会議室が取れるのは助かる。
- ・ 双方の特性を生かしたマッチングの働きかけ。
- ・ UMECOの冊子が行き届いていないので年に1回だけでも市の広報と一緒に届けてはどうか。
- ・ UMECOや公共施設の利用がしやすくなることを望みます。
- ・ 申請が複雑にならない様にしてほしい。
- ・ 興味がない人へのアプローチする手段のひとつとして、連携ができればいいのかなと思います。
- ・ 住みよい魅力のある街づくりに向け、有効な活動を支援していく
- ・ 他の主体の活動や行事計画に関する情報公開を。
- ・ うめこ祭り年に一度にプラスし、ミニうめこ祭りを開催。

UMECO祭りは年に1回ではなく2回くらい開催していただけたら良い。

